

神戸の沿革と概要



神戸は古来の港町

瀬戸内海に面する神戸は、古くからの港町でした。奈良時代の港「大輪田泊（おおわだのとまり）」は、宋や明など諸外国との貿易の拠点。わずか半年足らずですが、京都から都が移され、現在の兵庫区あたりに福原京が設けられたこともあります。中世には戦乱で荒廃し、貿易の中心は大阪の堺に移りますが、やがて大阪の外港としての地位を築き、海上運送の要衝を担うこととなります。また、自然条件を活かした酒造りは、江戸時代には「灘の生一本」として全国に広まりました。

国際貿易港・神戸の誕生

江戸時代には鎖国により貿易が途絶えましたが、ペリーやハリスが来航して間もなく、日本は開国に至ります。神戸は日米修好通商条約により1868年1月1日（慶応3年12月7日）に開港、国際貿易港として歩み始めます。衣食住から娯楽・文化に至るあらゆる面で欧米の様式が持ち込まれ、いち早く文明開化の洗礼を受けた神戸。多様な外国文化と直に接してきた風土と気質は、今も異人館街や旧外国人居留地、南京町の街角や、さらには人々の心にも息づいているのです。

独自の情報を発信する都市

1889年（明治22年）の市制施行時、神戸の人口は13万人でしたが、約50年後には100万人へと発展します。第2次世界大戦で一時38万人に減少しますが、民間貿易の再開、朝鮮動乱の特需、昭和30年代の高度経済成長により急激に復興を遂げます。1981年（昭和56年）には「ポートピア'81」、1985年（昭和60年）には「ユニバーシアード神戸大会」などが開催され、ファッション・コンベンション・観光など、独自の情報を発信する都市・神戸が築かれていきます。

震災からの復興を経て…

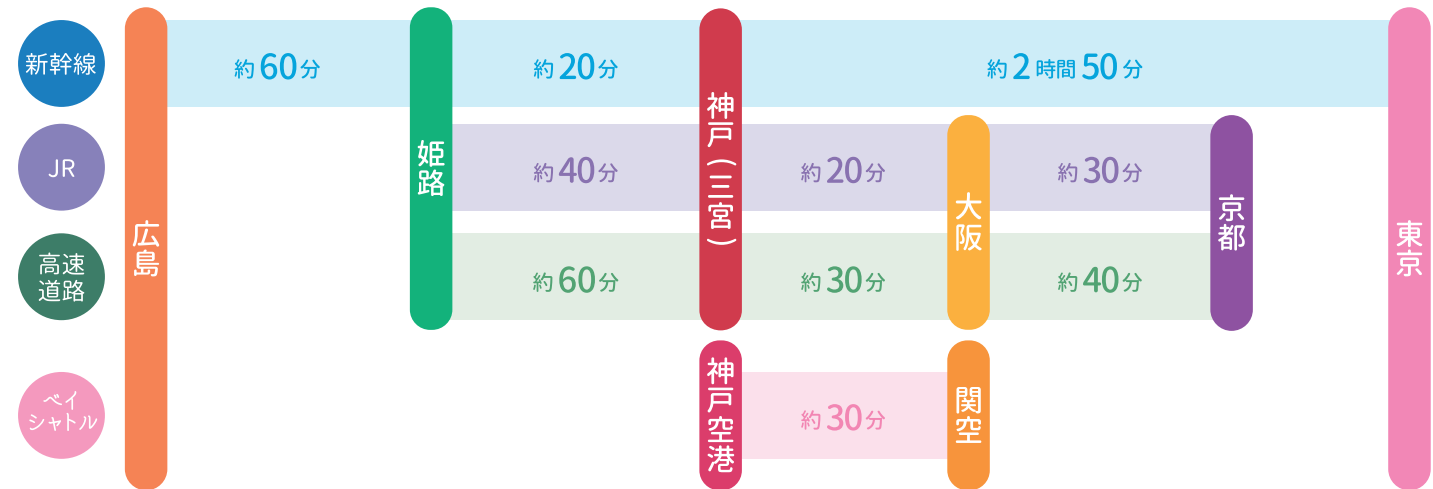
1995年（平成7年）1月17日、マグニチュード7.3の直下型地震「阪神・淡路大震災」は、一瞬にして多くの尊い命を奪い、町を破壊しました。神戸では市民一人ひとりが手を携えて大震災を乗り越えましたが、震災から20年以上経った今も、この経験と記憶を風化させないよう様々な施設や催しを通して、またボランティア活動や地域コミュニティの中で、震災で得た貴重な教訓を未来に伝える活動が展開されています。

アクセスマップ

神戸は新幹線停車駅（新神戸駅）があるため、県外からのアクセスも便利！



各地へのアクセス情報



神戸の教育旅行に関する情報が満載！

神戸教育旅行ガイド WEB サイト



詳しくはこちら！

<https://www.feel-kobe.jp/kyoiku/>

- ・神戸で学ぶ震災学習
- ・教育旅行のお得な情報と観光情報
- ・神戸クルーズ案内
- ・アクセス
- ・MAP
- ・Q&A



神戸教育旅行ガイド

kobe educational travel guide



神戸で学ぶ 震災学習

1995年1月17日、それは神戸にとって**忘れることが出来ない日**、**そして忘れてはならない日**。阪神・淡路大震災により、神戸はかつて無い大きな被害を受けると共に、改めて「**命の尊さ**」や「**絆の大切さ**」を思い知ることとなりました。今、日本の各地では、地震がいつ、どこで起きるかわからない危機に立たされています。そうした中で神戸では、震災の経験を役立てる様々な活動に取り組んでいます。



写真提供：神戸市

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターは、**震災の経験と教訓、防災の大切さを未来と世界に伝える防災学習施設**です。西館と東館の2館からなっており、震災資料展示や語り部による講話(被災体験談)などから阪神・淡路大震災について学べるほか、**液状化等の実験ステージ**などからは実践的な防災・減災の知識を身につけることができます。無料で利用いただける資料室では、**観覧の事前・事後学習に役立つ資料**も用意しています。

神戸市中央区臨浜海岸通1-5-2 Tel:078-262-5050
URL:http://www.dri.ne.jp/



建物全景



展示物見学の様子



東日本大震災 奇跡の一本松

神戸市立こうべまちづくり会館

1993年11月に住民主体によるまちづくり活動を支援する拠点として開館し、阪神・淡路大震災直後には避難者を受け入れ、**復興まちづくりの支援拠点**としても機能してきました。その後は「つどい・つたわり・つながる」場として、幅広いまちづくり活動の支援を目指しています。また「神戸で学ぶ防災学習」を、**神戸防災技術者の会(K-TEC)**と共同で、被災地の支援活動や防災・減災に関することを学び、阪神・淡路大震災の記憶と教訓を伝える活動として実施しています。

神戸市中央区元町通 4-2-14 Tel:078-361-4523
URL:http://www.kobe-machisen.jp



神戸震災メモリアルパーク

「**メリケン波止場**」の被災した岸壁の一部を、被災した状態のまま保存しています。併設する屋外施設では、被災した神戸港の映像や写真、復興の過程が紹介されています。

神戸市中央区波止場町 2-2
Tel:078-321-0085



慰霊と復興のモニュメント 1.17 希望の灯り



「**慰霊と復興のモニュメント**」の地下には震災犠牲者の名前を刻んだ銘板が掲示されています。「**1.17 希望の灯り**」は全国から寄せられた種火を一つにした灯火です。

神戸市中央区加納町 6 丁目
東遊園地内
Tel:078-322-6491



震災遺構まちあるき



災害対応「クロスロードゲーム」



スライド学習



NPO 神戸の絆 2005

あの阪神大震災を体験した**神戸市職員 OB、学校長、消防職員**などで構成する**語り部グループ**で修学旅行生や地域の方々に阪神大震災から学ぶ防災・減災についての講話に幅広く取り組んでいます。

神戸市須磨区東白川台 4 丁目 5-1
Tel:078-341-4500/専務理事 金芳(かねよし) 090-5247-2549
URL:http://kobenokizuna.jp/

NPO 法人 KOBÉ 観光ガイドボランティア

震災の傷跡が残る現場を体験談を交えながらガイドボランティアが案内します。近い将来起こり得る大震災に対しての心構えとして**実際に現場を訪れ自然の力の脅威を感じることはとても意味のあること**です。そして震災で芽生えた助け合いの心、おもいやり、ボランティア精神などを次代を担う若者たちに伝えます。

神戸市中央区北野町 3-10-20 Tel:078-251-8530
URL:http://kobeguide.o.oo7.jp

教育旅行の お得な情報



神戸の教育旅行で使える、
お得なサービスをご案内。

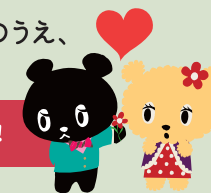
お得で便利な神戸学遊パスポート



入手方法

- 1 神戸市内にお泊り
(一財)神戸観光局へお申込みください。宿泊施設に確認後、必要部数を配送いたします。
- 2 神戸市外にお泊り
ホームページからパスポートを印刷して必要事項を記入のうえ、観光施設で提示してください。

対象施設へ提示して**無料**または**割引**料金での見学ができます！



シティーループ 学旅1日乗車券



シティーループ「学旅」1日乗車券
(中・高校生用)を発売！



三宮・北野異人館・新神戸・南京町・旧居留地・メリケンパーク・ハーバーランドなどの神戸都心部の観光スポットを結んで運行し、「**走る異人館**」として人気を集めているシティーループバス。

販売価格 **560円**

- 01 便利でお得！
1日乗り降り自由
- 02 班別行動におすすり！
観光ガイドが乗車している
ので初めてでも安心
- 03 Port Loop も乗車OK

申込について 使用予定日の**3週間前**までにお申し込みください。
(通常料金：1回乗車中学生以上 260円 / 小学生以下 130円、1日乗車券中学生以上 700円 / 小学生以下 350円)



外観



避難所体験



学舎内



ふたば学舎

1995年1月17日に阪神・淡路大震災が起き、神戸市長田区南西部に位置する二葉小学校は**多くの被災者を受け入れる避難所**となりました。その二葉小学校を前身とするふたば学舎では、周辺被災地の記憶を中心に、阪神・淡路大震災の記憶と教訓を次世代に伝えるための**震災体験学習**を実施しています。参加者が震災被災者の想いや経験を「**自分事**」として捉え、未来の震災への備えにつなげられるよう、避難所体験や語り部体験談など**複数のメニューを組み合わせた体験型プログラム**を提供いたします。

神戸市長田区二葉町 7-1-18 Tel:078-646-8128
URL:http://futabasyo.jp

神戸観光情報

神戸市の観光地、施設の写真については「**神戸公式観光写真素材サイト FeelPhoto**」をご覧ください。フリー写真となりますので、資料作成・事前学習にもご活用ください。そのほかの観光情報については(一財)神戸観光局 HP をご覧ください。



神戸公式観光写真素材サイト
「FeelPhoto」



神戸公式観光サイト
「FeelKobe」